

財団法人國學院大學院友会 平成23年度事業報告

◇ 事業 ◇

◇ 実施内容 ◇

◇ 【法人事業】

■ 「理事会」「評議員会」の開催

◎ 第1回理事会 平成23年 5月16日 第2回理事会 平成23年 6月29日
第3回理事会 平成23年 9月 6日 第4回理事会 平成23年12月19日
第5回理事会 平成24年 3月 14日

◎ 第1回評議員会 平成23年6月20日 第2回評議員会 平成24年3月14日

◆ 任期満了に伴う理事・監事、評議員の改選を定款(寄附行為)に基づき実施。

吉田茂穂氏を新会長に、新たな体制がスタートした。東日本大震災後の被災地や学生支援、一般財団法人への移行に関することなどが特に諮られた。

◆ 東日本大震災による被災地、被災支部、学生への支援について検討、実施。

→ ・岩手県、宮城県、福島県中通り、福島県浜通りの4支部への支援を決定。

・被災学生への支援。國學院大學への指定寄付として、大学と共に支援することに。

・窓口などでの募金活動。公的機関を通じて被災地へ。

→ 窓口やコンサートなど実施事業での募金として 988,431円が寄せられ、

日本赤十字社へ送った。

◆ 新公益法人制度への対応。「一般財団法人國學院大學院友会」への移行に向けて、相談、準備が進められた。

◆ 特例民法法人から一般財団法人への移行に向けて

→ 「公益法人制度改革検討委員会」を中心に本法人として対応を進めた。

・第11回から16回まで6回を開催した。

◎ 第11回 公益法人制度改革対応検討委員会 23. 4. 15 開催

第12回 公益法人制度改革対応検討委員会 23. 9. 13 開催

第13回 公益法人制度改革対応検討委員会 23. 10. 26 開催

第14回 公益法人制度改革対応検討委員会 23. 12. 6 開催

第15回 公益法人制度改革対応検討委員会 24. 1. 27 開催

第16回 公益法人制度改革対応検討委員会 24. 2. 28 開催

→ 定款案や公益目的支出計画、など具体的な内容の検討を重ねた。

→ 申請先である内閣府や、よりよいアドバイスを得るために入会した公益財団法人公益法人協会への訪問を重ね、指導を受け、準備を進めた。

◆ 本会会報や各会議、会合、各支部総会、H.P等、広報活動を行った。理事会、職員一体となって努めた。

◆ 「第15回顧問・参加会」を院友会館で開催を予定したが、大震災の影響などで開催を見合わせた。

■ 一般財団法人への移行

■ 移行の広報活動

■ 「顧問・参加会」の開催

◇ 【育成支援事業】

■ 國學院大學学生支援 他

→ 「学術・スポーツ振興資金」での学生支援

◆ 「学術」…母校所蔵の貴重資料デジタル化に 100,000円 を支援。

→ 母校図書館ホームページの貴重資料も、リニューアルされ、解説も準備中。

◆ 「硬式野球部」、「陸上競技部(長距離部門)」、「柔道部」を対象として継続支援。

→ スポーツ部門 500,000円×3部会 ・22年度、23年度実施額

・22年度繰越金 5,429,191円

・23年度積立金 3,238,633円

・23年度支援金 1,600,000円 (学術部門・スポーツ3団体)

合計 7,067,824円

→ 平成8年度から実施している支援事業。

◆ 特別支援金 → 「硬式野球部」、「陸上競技部(長距離部門)」、「柔道部」の3部会に本会から 各300,000円×3部会 の計 900,000円を特別支援として援助。

◆ 「司法試験奨学金」短答式試験合格者への支援 … 平成12年度から実施

→ 23年度から旧制度での司法試験が終了し、新司法試験のみとなることに伴い、従来の「短答式試験」合格者数がかなり多くなるため、規程での支給額を見直し、引き続き支援を継続した。

- 母校学生・院友で「短答式試験」合格者に、50,000円を支給。返済不要。
- 23年度は、申請者なし。

◆ 教職を目指す学生の支援 ※平成17年度から実施事業。

- 「学習指導要領」を小・中・高それぞれ教員を志す学生に贈呈した。
- 高校50冊、中学100冊、小学校150冊。「教職を目指すみなさんへ」のメッセージを添えて、キャリアサポート課(就職課)の協力を得て贈呈。
- 小学校学習指導要領解説総則編 106冊、同中学校編 108冊、同中学校保健体育編 123冊、同高等学校編 123冊 以上も上記同様、贈呈支援した。
- 支援合計 200,200円(税込)

◆ 「院友会長賞」での応援 → 各100,000円、合計200,000円の支援を実施。

- 母校の名声を高めた院友及び学生に授与する。(団体も可)
- 平成24年5月の院友大会席上で贈呈する。

▼ 学生の部 → 川上智弘(かわかみ・ともひろ/法学部4年)氏

→ 平成23年8月に中国で開催されたユニバーシアードの柔道81kg級で、金メダル(個人)、同じく団体戦でも日本の大将として逆転の金メダルをもたらした。また、12月のグランドスラム東京でも81kg級優勝と、その活躍は院友のみならず、全ての柔道ファンを魅了した。これを称え、敬意を表すべく選考した。

▼ 院友の部 → 友枝昭世(ともえだ・あきよ/70文)

→ 喜多流能楽師。平成15年には日本芸術院賞、平成20年には重要無形文化財(人間国宝)に認定され、日本芸術院会員に就任されたことは、院友はじめ学生、母校関係者の大きな誇りとするところ。努力を称え敬意を表すべく、選考した。

◆ 競技場、試合場、応援席などに掲げる旗や幟、横断幕などを貸し出した。

- (支部総会や講演会への貸出も可) … 「がんばれ國學院」「國學院大學」
- スキー部、卓球部、柔道部など、大会で。熊本県支部、熊本城案内ツアー(一般対象・支部事業)にて使用した。

◆ 『絶対必要！新社会人実践マナー教室』

→ 母校キャリアサポート課と連携して、新たに社会人となる学生達へ、職場のマナーや文書の書き方、訪問・接客時の礼儀やマナーを学んでもらう講座。内容は学生や社会の要望に則して学べるようにし、学生への奨学奨励として継続して実施した。

… 本会 主催 / 國學院大學 後援

→ 会場は院友会館を使用。

→ 受講料 無料 (諸経費は本会負担の学生対象の講座)

・講師 村上侑美枝(むらかみ・ゆみえ/正会員)氏/総合マナーコンサルタント

第一回 : 平成24年1月18日(水) / 29名申込 参加者17名

第二回 : 平成24年1月25日(水) / 21名申込 参加者10名

時間は両日ともに ①12:50~14:20 ②14:30~16:00

・講師謝礼 88,888円(交通費込み)/PRは大学キャリアサポート課が窓口となった。

■ 会館利用・施設の提供

◆ 公益また育成事業として、学生への施設の提供に際し、内容によって経費の補助を継続して実施している。

・利用規程に則して補助を実施した。

・國學院大學競技カルタ同好会/針本教授・学生お茶会/全学応援団
合気道部/フォイエールコール混声合唱団/居合道部/射撃部/剣道部
卓球部/國學院大學体育連合会/陸上競技部/柔道部
遠州流茶道お稽古/國學院大學表千家 茶の湯同好会 など。

◇ 【講座・講演会事業】

◆ 《平成23年度院友大会》一般公開講演会

・『愛国消費の時代』

・講師 : 三浦 展(みうら・あつし)氏 消費社会研究家

→ 無料 / 日時:平成23年5月21日(土) 17:00 ~ 18:00

◆ 『古事記全講研究会(第19期)』…中村啓信氏 國學院大學名誉教授

→ 全10回/定員70名/受講料 15,750円(税込10回分)

前回受講者・本会メンバー/14,175円(税込10回分)

→ 学生料金(学部学生・大学院生)10,500円(税込10回分。学生証提示。)

/講師1名・謝礼 22,222円×10回

→ 14:30~16:00 水曜日に開催 /院友会館 三階大会議室
・平成23年5月25日、6月15日、7月13日、9月7日、10月12日
11月16日、12月14日、平成24年1月18日、2月15日、3月14日
〔収入〕… 698,075円 /49名受講
〔支出〕… 388,575円

(講師謝礼 222,222円、チラシ代・受講票通信費・ビデオテープ代など 166,353円)
※ DM送付除く

◆『源氏物語講座 (第5期)』…針本正行氏 國學院大學文学部教授・本会理事
「薄雲・朝顔」巻を読む

→ 全10回/定員60名/受講料 15,750円(税込10回分)
前回受講者・本会メンバー / 14,175円(税込10回分)
→ 学生料金(学部学生・大学院生)10,500円(税込10回分。)
/講師1名・謝礼 22,222円×10回
→ 13:30~15:00 月曜日に開催 /院友会館 三階大会議室
・平成23年4月18日、5月16日、6月20日、7月11日、8月1日
10月17日、11月14日、12月12日、平成24年1月16日、3月12日
〔収入〕… 297,675円 /23名受講
〔支出〕… 387,895円

(講師謝礼 222,222円、チラシ代・受講票通信費・ビデオテープ代他)

◆ 院友学術振興会公開講座『國學院の古典』(第15回):本会共催

・國學院大學で学位を得た先生方の会で、支部である院友学術振興会が、古事記・万葉集・源氏物語・中国文学・風土記・国語学など多彩な分野から國學院が培ってきた古典とは何か、を講義。

→ 定員70名、一日1,000円(2コマ)の講座。
→ 渋谷区・渋谷区教育委員会・國學院大學が後援。地域にも密着。
・平成23年度講座:平成24年1月10日(火)~14日(土)に実施。

1月10日(火)① 源氏物語 秋澤 互氏 ② 風土記 谷口雅博氏
11日(水)① 国語学 浅川哲也氏 ② 万葉集 菅野雅雄氏
12日(木)①源氏物語 岩下裕一氏 ② 中国文学 松田 稔氏
13日(金)① 古事記 山崎かおり氏 ② 万葉集 城崎陽子氏
14日(土)① 古事記 小林真美氏 ② 源氏物語 林田孝和氏

※ ①=13:00~14:30 ②=14:50~16:20

※ → 申込 のべ 1,070名 / 申込実数 213名 / 受講生 のべ 877名
→ (22年度参考) 申込のべ818名/申込実数209名/受講生のべ666名

◆ サロン・コンサートの開催。… 本会会館一階ロビーにて開催

【・みんなで楽しく「音がく(〜楽・学〜)会】 東日本大震災復興支援コンサートとして

- ① 日時 平成23年6月11日(土) 15:00~16:30 /演奏 (株)アリアミュージックオフィス
参加 61名 曲目 クラシック … オペラ「椿姫」他
・収入 0 /募金箱設置
・支出 312,364円 … コンサート企画料、調律代、プログラム、DM、軽食など。
- ② 日時 平成23年12月10日(土) 14:30~16:00 /演奏 (株)アリアミュージックオフィス
参加 80名 曲目 ジャズ … A列車で行こう 他
・収入 0 /募金箱設置 27,301円 (日本赤十字社へ)
・支出 311,624円 … コンサート企画料、調律代、プログラム、DM、軽食など。
- ③ 日時 平成24年3月10日(土) 14:00~15:45 /演奏 (株)アリアミュージックオフィス
参加 60名 曲目 日本の歌 … 早春賦 他
・収入 0 /募金箱設置 21,600円 (日本赤十字社へ)
・支出 313,036円 … コンサート企画料、調律代、プログラム、DM、軽食など。

* 上記いずれも無料・一般公開として実施した。

◆ 地域での支部を中心とした公益的な活動

→ 一支部300,000円を上限。各地域での公益的企画立案。支部が実施する
事業を支援。4支部が地域との事業として講演等を実施した。何れも無料・一般公開。

◎ 山形県支部:23.6.12(日) 文化講演会 13:30~15:00

・山形グランドホテル / 66名参加 ・300,000円支援

『平家物語と絵画資料研究』 國學院大學文学部教授 松尾葦江氏

◎ 福島県浜通支部:23. 8. 21(日) 福島県民の日 ・300,000円支援

・第一部 記念公開講演会

／会場 福島県外材輸入組合(いわき市) 12:30~14:00

①『苜野くさの)神社の田植踊り』 講師:懸田弘訓氏(県文化財保護審議会委員)

②『津波遡上限界ラインには神社仏閣がある』

講師:吉田成志氏(福島県いわき地方振興局)

・第二部 民俗芸能公演

／会場 アクアマリンふくしま 特設舞台「がれき座」 15:00~17:00

・請戸の田植踊り … 浪江町請戸 請戸芸能保存会

・太神楽 … 太神楽師 鏡味仙三 ・諏訪神社の獅子舞 … いわき市沼ノ内青年会

・うず型じゃんがら念仏踊り … いわき市 菅波伝統文化継承会

以上に、避難先からの来場者、一般市民等500名参加

◎ 福岡県支部:23. 8. 27(土) 文化講演会 17:30~18:30

・ホテルセントラザ博多 / 44名参加 ・120,000円支援

『神道精神について』 國學院大學名誉教授 安蘇谷正彦氏(前学長)

◎ 石川県支部:23. 9. 10(土) 文化講演会 14:00~15:00

・ホテル日航金沢 / 100名参加 ・300,000円支援

『「平家物語を読む」北國合戦譚の朗読と講演』

・朗読 戸丸彰子氏(元テレビ金沢・アナウンサー)

・講演 千明 守氏(國學院大學栃木短期大學 文学部教授)

◇【会館施設提供事業】

→ 本会会館利用規則に基づき、地域社会の健全な発展を目的とする会館利用への補助を実施した。

・地域、近隣、近隣諸学校なども対象とした。

・氷川地区5団体合同会議(渋谷区町内会連合会) など。

◇【特定寄付】

■ 國學院大學への寄付

◆ 東日本大震災支援関係

→ 母校で進めている被災学生支援制度へ寄付を行った。

指定寄付として 5,000,000円を寄贈した。

◆ 母校が実施している社会貢献事業で、全国の高校生対象文化事業へ寄付を行った。

・「第15回 全国高校生創作コンテスト」に協力支援

→ 國學院大學、高校生新聞社共催/本会、若木育成会協賛/文部科学省後援

→ 第1回から支援 / 年額 100,000円を指定寄付として支援した。

・「第7回 地域の伝承文化に学ぶ」コンテストへの協力支援

國學院大學、高校生新聞社共催/本会、若木育成会、國學院短大部協賛

／農林水産省、全国高等学校校長協会後援

→ 総額 100,000円 を指定寄付として支援した。

◇【その他の事業】

◇ 収益事業

■ 事業収入

◆ パンフレットを作成し、近隣企業などに会館利用促進のPRを図った。

◎ 23年度会館事業収益 24,740,297円 前年比 2,283,662円 増

22年度会館事業収益 22,456,635円 前年比 3,922,237円 増

21年度会館事業収益 18,534,398円 前年比 4,039,184円 減

20年度会館事業収益 22,573,582円 前年比 5,139,380円 減

19年度会館事業収益 27,712,962円 前年比 1,894,364円 増

◇ 同窓会事業

■ 母校の支援

◆ 大学実施の「神職養成講習会」への協力

◎ →23年度「第125回」 32名。「第126回」では 34名が利用した。

神職養成の研修施設として協力した。

◆ 大学ホームカミングデーでの全国各地の物産展出店の協力。

◆ 物産展などの支部活動支援について

※ 震災復興祈念 がんばろう東北 : 東北から3支部が出店。

・一支部 100,000円を上限に支援した。

* 出店支部 ・岩手県支部 ・宮城県支部 ・福島県浜通り支部

■ 東日本大震災支援関係

◆ 岩手県、宮城県、福島県浜通り、福島県中通り の4支部へ、各 500,000円
計 2,000,000円を支援した。

→ 平成24年度「年度会費」「十年会費(代理徴収除く)」「維持寄付金」の
会費10%相当を支援とし、大勢の院友が協力して、実施をした。

→ 全国各支部から、また有志や諸会合などから、385,892円が寄せられた。

◆ 被災学生への國學院大學の学費などの減免措置への協力を決定した。

◆ 理事会の「会費・資金及び会館事業収入等増収促進委員会」を中心に検討した。

→ 22年度に2回開催した「いろいろなお話を伺う会」での諸意見などを基に、
コンビニ振込方法やさまざまな視点から、この委員会で検討を始めた。

◎ 第1回 会費・資金及び会館事業収入等増収促進委員会 24. 3. 6 開催

◆ 会報発送時に、会費納入者・未納者ごとに依頼状を同封。

※ 23年度会費取纏実施支部…北海道道東、岩手県、宮城県、山形県、
福島県中通り、茨城県、埼玉県西、東京都南多摩、新潟県、
福井県、静岡県東部、静岡県中部、大阪府、滋賀県、福岡県。

※ 神社(23年度) … 寒川神社、鶴岡八幡宮

■ 「会費」等納入促進

■ 会費納入状況

◎ 年度会費 …	23年度	7,430,000円	2,477件
	22年度	6,133,000円	2,046件
	21年度	5,615,000円	1,873件
	20年度	5,816,000円	1,941件
	19年度	6,195,500円	2,069件
◎ 十年会費(一般) …	23年度	9,270,000円	464件
	22年度	6,710,000円	336件
	21年度	6,610,000円	331件
	20年度	5,420,000円	271件
	19年度	5,560,000円	279件
◎ 十年会費(代理徴収) …	23年度	43,800,000円	2,190件
	22年度	47,240,000円	2,362件
	21年度	46,520,000円	2,326件
	20年度	46,280,000円	2,314件
	19年度	45,420,000円	2,271件

■ 全国支部長会議の開催

◆ 《第31回全国支部長会議》

【「一般財団法人國學院大學院友会」としての新しいスタートに向けて】

→ 日時: 院友大会と同日(平成23年5月21日開催) / 13:30~16:10。

会場: グランドプリンスホテル高輪「平安」にて

出席: 支部長と事務局代表者、計2名を全国各支部から招聘。

→ 各支部から支部長と事務局担当者の2名を招いて開催した。

→ 63支部中、60支部から 107 名が参加。

→ 新公益法人制度での「一般財団法人」移行において、特に支部の位置付けや活動、本部との事務処理など、この時点での情報や考えを報告し、意見交換を行った。

→ 東日本大震災での被災地並びに被災4支部、学生への支援を理事会が提案。全支部一丸となって岩手県、宮城県、福島県浜通り、福島県中通り の4支部を応援して行くことを確認した。

■ 院友大会の開催

◆ 《平成24年度院友大会》

日 時 : 平成23年 5月21日(土)

会 場 : グランドプリンスホテル新高輪 飛天

・講演会 17:00 ~ 18:00 一般公開・無料開催。詳細【講座講演会事業】参照。

『愛国消費の時代』

・講師 : 三浦 展(みうら・あつし)氏 消費社会研究家

・大会 18:00 ~ 20:00 「がんばろう日本! がんばろう院友!」
 会費 : 10,000円 / 第120期生(新院友)~第118期生まで : 3,000円
 本学学生、留学生院友会は特別割引設定あり。
 家族割引 一人プラス・・・=+5,000円 二人目から・・・=+3,000円

以上、講演会・大会司会は坂野昌子(さかの・まさこ/100史/フリーアナウンサー)氏

・360名 参加。

・講演会 : 講師謝礼 350,000円 (税込・カルチャースタディ研究所宛)

※ 院友大会

【収入】	単位:円	
・会費	1,606,000	
・賛助金	830,000	
・酒肴料	195,000	
・國學院大學	1,000,000	(支部長経費補助)
・雑収入	0	
収入合計	3,634,000	
【支出】		
・飲食代 他	2,730,922	(グランドプリンスホテル新高輪、他)
・大会運営費	207,385	
支出合計	2,938,307	
収支差額	695,693	(日本赤十字社へ)

▼ 22年度に「出席ハガキ」代支出 75,390円

■ 新年院友交歓会の開催

◆ 《新年院友交歓会》

日時 : 平成24年 1月21日(土) 17:00~ 開催。

会場 : 院友会館

参加者 : 158名 参加。

・硬式野球部、箱根駅伝2年連続シード権獲得の陸上競技部、ロンドンオリンピックを狙う川上選手を擁する柔道部から夫々監督、選手代表を招いて、開催した。

・三遊亭遊吉師匠による福引大会を実施した。

【収入】	単位:円	
・会費	702,000	
・酒肴料他	245,183	
収入合計	947,183	(福引景品代 53,183 含む)

【支出】		
・飲食代	488,565	
・会合運営費	298,708	
支出合計	787,273	(福引景品代 53,183 含む)

収支差額 159,910 (東日本大震災義捐金として日本赤十字へ)

※福引景品代/カタログギフト 53,183 → 経常会計事業費涉外費より支出

■ 院友会報の発行

◆ 《院友会報》の編集発行・・・第346号から349号までを編集発行した。

【346】・・・残暑見舞号 / 8月15日付、8月中旬発送。

・12面 / 86,100部 / 1,591,128円(税込) @17.60円
 送料 4,780,535円 .. 80,963件発送

【347】・・・支部活動特集号 / 10月15日付、10月中旬発送。

・16面 / 85,400部 / 2,205,882円(税込) @24.6円
 送料 4,770,680円 .. 80,508件発送

【348】・・・新年号 / 1月1日付、12月上旬発送。

・12面 / 85,150部 / 1,662,979円(税込) @18.6円
 送料 4,963,471円 .. 82,987件発送

【349】・・・新院友歓迎号 / 3月18日付、3月下旬発送。

・12面 / 90,100部 / 1,731,271円(税込) @18.3円
 送料 4,943,195円 .. 79,754件発送

→ 住所の判明している全ての院友に会報を発送。

◆ 「ビジネスサポート」によるサービスの充実を図った。 ※1点 3.15円×送付数

・346号 長野県支部 → 3.15円×1900部×2 = 11,970円

東京都二十三区支部 → 3.15円×15,380部(23区内)=48,447円

・349号 國學院大學栃木短期大學 → 3.15円×79,680部 =250,992円

■ ホームページの運営

- ◆ 本会公式ホームページの活用 → <http://www.kokugakuin.or.jp>
→ 母校・学生・各支部や院友情報の発信。会館のPRなどを行った。
野球・陸上・柔道他、試合の速報や結果、学生のニュースなどや院友の話題を情報として提供した。また、その日その日の会館の話題などもコラムにしてみた。
→ 情報セキュリティには万全を期した。

■ 院友会員のデータ管理

- ◆ 院友会報の発送やホームページでの会員情報を更新。
→ 院友データの整備により、会報の戻りを出来るだけ少なくした。
- ◆ 個人情報保護法・本会の個人情報に関する取り扱い諸規程を遵守した対応を行った。
→ 会員総数 135,346名 (H24. 3. 31 現在)

(内 物故者 11,357名)

(内 住所不明 39,764名)

(内 中止者 1,475名) 夫婦・希望・母校職員など

会報発送者数 82,750名

■ 会員の親睦、組織化と統括

- ◆ 全国各支部、地区・職域部会等へ役職員が出席。情報交換・交流を図った。
- ◆ 全国各支部総会等の会合へ本部から参加し、情報交換や交流を行なった。支部活動奨励金事業実施支部にも。計 72 会合に出席。出張関係別表。
- ◆ 本会の支部であり、母校で学位を得た方々の会、「院友学術振興会」に対して支援した。 → 年額 100,000円を特別支援

■ 「院友学術振興会」支部の支援を通して学術の振興に寄与する

■ 新卒業生へ

- ◆ 新院友への記念品／「第119期生」へ 22年度の新院友に、年度改まって送付。
→ 母校、若木育成会、本会の三者で、在学4年間の「学報縮刷版」を、卒業の記念品として作製配付することに協賛。費用負担と配付は23年度。

■ 会館管理・整備・修繕

- ◆ 設備の補修・改修
- ◎ 「会館施設等充実準備金」を以って、建物附属設備、什器備品類、消耗品類など理事会で定められた範囲で、修繕、購入、整備を行った。
 - ・ 地上デジタル放送開始に伴う対応 … 262,500円
 - ・ 畳替え … 675,990円
 - ・ 消火器補充 … 103,425円
 - ・ 屋内階段転落防止柵設置工事
 - ・ 会議室椅子、宴会用屏風、ステージ、傘立て、会議用テーブル、館内放送アンプ、非常口表示増設、災害時非常食、テレビ など。 … 9,909,694円

■ 防災・衛生など

- ◆ 防災計画などを基に、日常での防災管理を徹底する。
防災訓練、衛生管理にも常に注意をはらった。
→ 職員・アルバイトの意識高揚とミーティング、連絡を徹底した。
→ 防火防災訓練、避難訓練など、訓練を実施した。
→ 神職養成講習会において、受講生と防災等ミーティングを実施。
- ◆ 竣工後25年目。必要箇所の点検やメンテナンス、外観整備を行った。

以 上